

KONDOH Akino

# 近藤 聡乃、 ニューヨーク 創作と暮らし



『ニューヨークで考え中』③(並紀書房)プロローグより マンガ原稿用紙にインク 36.4 x 48.4 cm  
2020 ©KONDOH Akino, Courtesy of the artist and Mizuma Art Gallery

ニューヨークを拠点にアニメーション、マンガ、絵画、エッセイなど幅広く活動し、国内外の注目を集める近藤聡乃さんが「DOMANI・明日展2022-23」に参加するため帰国します。そこで、本との結びつきも深い近藤さんのニューヨークでの創作や暮らしについて語っていただきます。

こんどう あきの

講師 近藤 聡乃 (マンガ家・アーティスト)



1980年千葉県生まれ。2000年にマンガ家デビュー。アニメーション、ドローイング、エッセイなど多岐に渡る作品を国内外で発表している。  
●主な個展に、2019年「近藤聡乃展 呼ばれたことのない名前」(三菱地所アルティウム)、2018年「MAM SCREEN 008: 近藤聡乃」(森美術館)。  
●主な著書に、『はこにわ虫』(青林工藝舎)、『A子さんの恋人』全7巻(KADOKAWA)、『ニューヨークで考え中』①~③(並紀書房)、作品集『近藤聡乃作品集』(ナナロク社)、エッセイ集『不思議というには地味な話』(ナナロク社)、共著『谷崎万華鏡 谷崎潤一郎マンガアンソロジー』(中央公論新社)など。●2008年よりニューヨーク在住。

やまだ あきこ

聞き手 山田 晃子 (太田市美術館・図書館 主任学芸員)



大阪大学大学院文学研究科文化表現論専攻博士前期課程修了。(公財)福岡市文化芸術振興財団、三菱地所アルティウムなどを経て、2021年より現職。●主な企画に、2022年「津田 直+原 摩利彦 トライノアシオトー海 波は石となり、丘に眠る」(太田市美術館・図書館)、2020年「高木正勝個展 星の時間」(三菱地所アルティウム)、2019年「近藤聡乃 呼ばれたことのない名前」(三菱地所アルティウム)がある。●「近藤聡乃 主要作品解題」を『ユリイカ』2021年3月号(近藤聡乃特集)に寄稿。

主催  
千代田区立 日比谷図書文化館  
東京都千代田区日比谷公園1-4



協力  
DOMANI・明日展

DOMANI・明日展  
2022-23

× 日比谷カレッジ  
HIBIYA COLLEGE



『ニューヨークで考え中』(並紀書房)第二百五十一話(部分)  
©KONDOH Akino, Courtesy of the artist and Mizuma Art Gallery

での

2022年11月25日(金)  
19:00~20:30 (18:30開場)

定員 200名  
(事前申込順、定員に達し次第締切)

参加費 1000円

会場 日比谷図書文化館 地下1階  
日比谷コンベンションホール  
(大ホール)

お申し込み方法 受付開始は10月1日(土)

ホームページのお申し込みフォーム、電話(03-3502-3340)いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前(よみがな)、③電話番号、「お申し込みフォーム」からの場合は④メールアドレスをご連絡ください。

\*小学生以下のお子さまが参加される場合、保護者の同伴が必要です。(同伴者の方にも参加費が必要です)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施していますのでご協力ください。

●入館の際は、手指消毒・検温、マスク着用のご協力をお願いします。●体調のすぐれない(発熱、咳、倦怠感など)場合はご来館をご遠慮ください。

今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



DOMANI・明日展 2022-23

百年まえから、百年あとへ

文化庁は日本の芸術家育成のため、若手芸術家の海外での研修を支援する「新進芸術家海外研修制度」を1967年度から実施。その成果を発表する「DOMANI・明日展」は今年で25回目を迎えます。関東大震災から百年、「ゆれる/ゆらぐ地面、制度、価値観」の視点から、コロナ禍後の芸術界のあり方も考えます。

2022年11月19日(土)~2023年1月29日(日)

会場 国立新美術館  
東京都港区六本木 7-22-2

